



2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月12日

上場会社名 A R アドバンステクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 5578 URL https://ari-jp.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 寿憲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 京極 健史 TEL 03 (6450) 6082
四半期報告書提出予定日 2024年4月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	5,471	15.0	217	△9.7	222	△9.2	134	△15.3
2023年8月期第2四半期	4,755	-	241	-	245	-	159	-

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 134百万円 (△15.3%) 2023年8月期第2四半期 159百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	40.96	38.13
2023年8月期第2四半期	53.15	-

- (注) 1. 当社は、2022年8月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2023年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は前第2四半期連結会計期間末において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2023年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	4,438	1,825	41.1
2023年8月期	4,468	1,748	39.1

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,825百万円 2023年8月期 1,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	0.00	-	20.00	20.00
2024年8月期	-	0.00	-	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,622	14.4	575	9.0	570	11.0	362	13.7	110.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	3,322,640株	2023年8月期	3,273,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	100株	2023年8月期	60株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	3,289,068株	2023年8月期2Q	2,994,040株

(注) 当社は、2023年1月30日開催の取締役会決議により、2023年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、その伸びに足踏みが見られるものの、緩やかな成長が継続しております。雇用・所得環境が改善する中での各種政策の効果が現れてくる一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等の海外景気の下振れ、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融市場の変動、さらには、令和6年能登半島地震の影響など十分留意すべきリスクも存在することから、依然として不透明な状況にあるといえます。

そのような中で、企業の設備投資は、機械設備投資こそ持ち直しに足踏みが見られるものの、IT投資については、堅調な企業収益等を背景に順調に推移してきております。特にDXに関する投資は、多くの産業分野において引き続き旺盛であり、生成AIの活用が社会に浸透していくに伴って、多くの企業においてさらなるDXの深化が必要になってきていることもあり、ITサービス市場は継続的に拡大してきております。

このような状況を背景に、当社グループは、クラウド技術とデータ・AI活用によるDXソリューション事業を展開していることから、売上高は前述のIT投資環境の後押しもあって継続的に伸長しております。また、今期は高付加価値案件へのシフト等による粗利率向上に重点的に取り組んでおり、施策展開の奏功もあって順調に売上総利益を確保いたしました。一方販管費については、下期から来期にかけての収益基盤を強化するために期初より積極的な採用活動を展開してきたことから、コンサルタント及びエンジニア採用の年間計画に対して、大幅な前倒しで採用数を獲得できたため、必然的に採用費用も当第2四半期連結会計期間に前倒し計上されることとなりました。また、生成AIをはじめとするAI市場の活況に適切に対応していくため、新規事業開発及びAIを主軸とした自社開発プロダクトに係る研究開発投資についても支出を増大させてきております。エンジニアのクラウド認定資格取得支援といった人的資本投資を積極的に実施しつつ、社内DX施策の最適化も前倒しで行うなど、戦略的な支出・投資を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,471,098千円（前年同期比15.0%増）、売上総利益1,363,755千円（前年同期比23.1%増）、営業利益217,723千円（前年同期比9.7%減）、経常利益222,665千円（前年同期比9.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益134,731千円（前年同期比15.3%減）となりました。

なお、当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,964,098千円となり、前連結会計年度末に比べ7,919千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が204,355千円減少した一方で、売掛金及び契約資産が205,594千円増加したことによるものであります。

固定資産は473,910千円となり、前連結会計年度末に比べ38,511千円減少いたしました。これは主に減価償却費を計上したこと等によりソフトウエアが29,448千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は4,438,008千円となり、前連結会計年度末に比べ30,591千円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,612,962千円となり、前連結会計年度末に比べ106,924千円減少いたしました。これは主に法人税等の支払により未払法人税等が89,488千円減少したことによるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に引き続きゼロであります。

この結果、負債合計は2,612,962千円となり、前連結会計年度末に比べ106,924千円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,825,045千円となり、前連結会計年度末に比べ76,332千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により134,731千円増加した一方で、配当金の支払により65,458千円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は41.1%（前連結会計年度末は39.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ204,355千円減少し、2,180,886千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は121,644千円（前年同期は得られた資金119,835千円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益222,665千円があった一方で、売上高が順調に伸長したことによる売上債権の増加額205,594千円、法人税等の支払額156,014千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は24,407千円（前年同期は使用した資金14,027千円）となりました。これは主に情報機器に係る有形固定資産の取得による支出24,512千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は58,398千円（前年同期は得られた資金579,166千円）となりました。これは主に配当金の支払額65,458千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想につきましては、2023年10月13日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,385,242	2,180,886
売掛金及び契約資産	1,506,345	1,711,939
その他	87,645	94,326
貸倒引当金	△23,054	△23,054
流動資産合計	3,956,178	3,964,098
固定資産		
有形固定資産	77,774	71,192
無形固定資産		
ソフトウェア	120,866	91,418
無形固定資産合計	120,866	91,418
投資その他の資産		
繰延税金資産	110,161	110,094
その他	220,783	218,740
貸倒引当金	△17,163	△17,535
投資その他の資産合計	313,780	311,299
固定資産合計	512,421	473,910
資産合計	4,468,600	4,438,008
負債の部		
流動負債		
買掛金	798,285	828,952
短期借入金	880,000	880,000
未払費用	541,177	471,949
未払法人税等	192,742	103,253
賞与引当金	—	65,129
役員賞与引当金	11,400	5,300
受注損失引当金	921	—
その他	295,361	258,377
流動負債合計	2,719,886	2,612,962
負債合計	2,719,886	2,612,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	128,980	132,145
新株式申込証拠金	—	839
資本剰余金	229,083	232,249
利益剰余金	1,390,673	1,459,946
自己株式	△24	△134
株主資本合計	1,748,713	1,825,045
純資産合計	1,748,713	1,825,045
負債純資産合計	4,468,600	4,438,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	4,755,789	5,471,098
売上原価	3,648,108	4,107,343
売上総利益	1,107,680	1,363,755
販売費及び一般管理費	866,624	1,146,031
営業利益	241,056	217,723
営業外収益		
受取利息	6	9
助成金収入	7,147	—
保険解約返戻金	—	7,544
その他	29	231
営業外収益合計	7,183	7,785
営業外費用		
支払利息	2,855	2,844
その他	48	—
営業外費用合計	2,904	2,844
経常利益	245,336	222,665
税金等調整前四半期純利益	245,336	222,665
法人税等	86,196	87,933
四半期純利益	159,139	134,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,139	134,731

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	159,139	134,731
四半期包括利益	159,139	134,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,139	134,731

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	245,336	222,665
減価償却費	48,981	46,470
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	841	371
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△921
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37,800	65,129
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△6,100
受取利息及び受取配当金	△6	△9
支払利息	2,855	2,844
為替差損益 (△は益)	48	△94
売上債権の増減額 (△は増加)	△173,621	△205,594
仕入債務の増減額 (△は減少)	80,424	30,666
その他	△87,461	△118,192
小計	155,198	37,235
利息及び配当金の受取額	6	9
利息の支払額	△3,286	△2,874
法人税等の支払額	△32,082	△156,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,835	△121,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の担保解除による収入	10,009	—
有形固定資産の取得による支出	△23,216	△24,512
無形固定資産の取得による支出	△13,723	—
敷金及び保証金の回収による収入	12,280	—
その他	622	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,027	△24,407
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	580,000	—
ストックオプションの行使による収入	—	6,330
自己株式の取得による支出	—	△109
配当金の支払額	—	△65,458
その他	△833	839
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,166	△58,398
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	684,926	△204,355
現金及び現金同等物の期首残高	876,881	2,385,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,561,808	2,180,886

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、DXソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。